

恐かった台風

「避難だぞ」

夜の六時頃停電してかい中電灯をつけたとき、父が言っ、準備にとりかかりました。ぼくはとても恐かったです。去年の十月二十日水曜日、台風二十三号が来ました。

車で避難しましたが、その時はもう道がどろの川になっ、いてすごかったです。やっ、と坂の上まで行くと、みんなほいとしました。ぼくもほ、としました。

でも家の中にはまだたくさん物が残っています。まだてい防も切れていなか、たので父と母が大事な物を取りに、い、たん家にもどりました。ぼくの大切なゲームを持、て来てくれました。母はぼくと妹の服を持てる分だけ持、て来てくれました。

一日た、て片間を見ると、どろの海になっ、ていました。っ、すげいな、とぼくは思いました。水が引いて初めて家に行くと、中に一メートル三十センチの水が入、ていたので、ど

ろがたくさん入り、いろんな物がいろんなところ  
に散らばっていました。マーガリンが畳の下から  
出てきたりして、畳も浮いていたところ  
が分かりました。

片付けはとて大変でした。最初は家の中  
にある物を全部出すこと、次は床下に入った  
水を全部出すことでした。バケツにくわのを  
ぼくも手伝いました。二時間以上しても全  
部出せなくて、次の日もしました。

ボランティアの人が来てくれて、重い畳を  
運んだり汚れた物を洗ってくれたりしました。  
地域の人も助けってくれ、がんばっていました。  
声をかけてくれました。とてもうれしかった。  
す。去年を思い出すと、いろんな人に支えら  
れたなと思います。

今まで台風を何とも思っていたなか、たし本  
当に提防が切れるなんて思いませんでした。  
でも、去年の台風を経験し、怖いというこ  
を一番思いました。今年警報が出た時は物を  
二階に上げました。もう来ないでほしいです。